

関連イベント

上映パフォーマンス
「ホルムアルデヒド・トリップ」

2024.1.14 日

17:30 開場 / 18:00 開演 (上演は約1時間予定)

京都芸術センター フリースペース (南館1階)
Kyoto Art Center Multi-purpose hall

無料 / 定員100名 (要事前申込)

出演 ナオミ・リンコン・ギャルド / サン・チャ / ダニシュタ・リヴェロ

アーティスト・トーク

2024.1.13 土

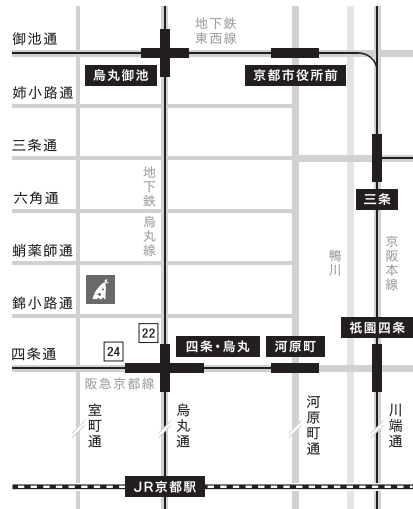
16:00 ~ 18:00

京都芸術センター 大広間 (西館2階)
Kyoto Art Center Japanese style hall

無料 / 定員100名 (要事前申込)

出演 ナオミ・リンコン・ギャルド

聞き手: 橋本梓 (国立国際美術館主任研究員) 通訳: 佐藤まな



京都芸術センター

〒604-8156
京都市中京区室町通蛸薬師下る
山伏山町546-2

Tel : 075-213-1000
Mail : info@kac.or.jp
URL : https://www.kac.or.jp/



Performative Screening / Artist's talk

ホルムアルデヒド・トリップ

The Formaldehyde Trip
Exhibition

展示

「ホルムアルデヒド・トリップ」

2024.1.13 土 ~ 28 日 13:00~19:00
(水・木曜日は休廊)

ギャラリー・パルク
Gallery PARC



ナオミ・リンコン・ギャルド

Naomi Rincón Gallardo
San Cha / Danishta Rivero

サン・チャ / ダニシュタ・リヴェロ

ナオミ・リンコン・ギャルド「ホルムアルデヒド・トリップ」2017年 / サンフランシスコ近代美術館との共同制作

展示アーティスト | ナオミ・リンコン・ギャルド

フライヤーデザイン | mondo
記録写真 | 菱生田兵吾 (合同会社ウミアック)

コーディネーター | 勝治真美 (Gallery PARC)
正木裕介 (Gallery PARC)
コーディネーター補佐 | 高坂玲子 (Gallery PARC)
展示協力 | ヤマガミユキヒロ

京都精華大学 | マイノリティの権利、特にSOGIをはじめとした「性の多様性」に関する知識と、それらを踏まえた表現倫理のリテラシーを備えたアートマネジメント人材育成プログラム「あなたの隣を歩く人がいる」

本事業は、京都精華大学が2021年度から実施しているアートマネジメント人材育成プロジェクトです。基本的な人権についての知識と表現の倫理をめぐるリテラシーをもち、アートを創造する現場に必要な配慮をしながら実務にあたることのできる人材の育成を目指し、人種・民族・ジェンダー・セクシュアリティ・階級といったさまざまな権力関係が交差する現代社会の諸側面について学ぶレクチャーやゼミ等を開講しています。(あなたの隣を歩く人がいる 公式WEBサイト→)



【主催】 京都精華大学
【共催】 京都市、公益財団法人世界人権問題研究センター、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、一般社団法人HAPS
【協賛】 株式会社グランマープル

プロジェクト監修 | 山田創平(京都精華大学国際文化学部長・教授) プロジェクトコーディネーター | 内山幸子 企画協力 | 吉田守伸

●令和5年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業 ●上映パフォーマンスとアーティスト・トークは「KACパートナーシップ・プログラム2023」(共催事業)採択事業

コロナ禍のメキシコ・オアハカ州で現代美術や民俗についてのフィールド調査を行った清水チナツさんと

メキシコをフィールドに人類学と文学の間で翻訳について研究する鋤柄史子さんに、

本作を深く理解するためのテキストを執筆いただきました。

清水チナツ

彼方此方に、突然に命を奪われ、暮らしが壊され、住み慣れた土地を追われる人たちがいる。そんなとき、失った多くのものに胸を痛めながら、誰しもが問う。「ほんとうに大事なものはなにか?」「取り戻すべき日常とはどんなものか?」。その切実な問いは、一度はこの世にユートピアを出現させるが、瞬間に消えてゆく。東日本大震災の後、東北でそのもどかしさを抱えていたわたしが、わずかな情報と勘を頼りにたどり着いたのが、ナオミ・リンコン・ガヤルドが拠点のひとつとするメキシコ南部のオアハカ州だった。わたしは2020年3月から一年半、オアハカのセントロ地区に暮らした。オアハカでの日々を回想しながら、ガヤルドがあらわそうとしたものに、手を伸ばしてみたい。

「予祝」を想起させる

オアハカは先住民が多く、伝統的な文化や祭礼が色濃く残る土地だということは聞いていた。「素朴な」とか「手つかずの」と形容されるような土地柄であることをガイドブックで読んだ記憶もある。しかし到着後、そのイメージは崩れ去り、鮮烈で多彩な声にとって代わられた。

通りを歩くだけで、ここに暮らす人々が何に憤り、何を愛しているのかが幾重にもかさなって聞こえてきたのだ。

「予祝」を想起させる

たとえば、至るところに現れるストリートアートからは、先住民や女性、子どもたちの尊厳を守ろうという声が絶えず聞こえ、畑で穂を揺らすトウモロコシは、それが遺伝子組換え種の輸入を阻止し、守り抜かれた在来種なのだと語る。市場に並ぶ花々は、死者に花を手向けよ、忘却は二度目の死を意味するのだとささやき、コミュニティラジオの電波は多様な先住民言語で地域の課題をシェアする。アーティストの工房では、声を持たない者たちに声を与え、炭焼き台の上で煮えたぎる鍋は、何世紀にもわたり混ざり合った植民地の歴史の複雑な味を教える。毎週のように組織される市民のデモの隊列は、政府の無能さを告発し、抑圧された者同士の連帯を呼びかけ、道を占拠し開かれるパティーのスピーカーは、集い踊れと鳴り響く。

「予祝」を想起させる

衣食住の隅々に、オアハカに暮らす人たちが守り抜いてきた文化の生態系とそれらをめぐる闘いの痕跡が感じられたが、それは碑や像といった類のものではなく、つねに生きられることで人々の血肉となり、死後も精神として継がれる種のものであった。人々はよく「Bonito／Bonita」と口にし、この世界の何がうつくしいのかを語り合い、ときに歌った。つまりは、彼ら／彼女らにとって「うつくしさ」こそ、立ち戻るべき場所なのだ。

「予祝」を想起させる

それは幾度となく奪われようとも、手をかけて回復させてきた数々の事柄に向けられた言葉でもあり、芸術のみに限定された言葉ではなかった。

「予祝」を想起させる

世界を見渡してみると、「北」と「南」の深刻な不平等は、パンデミック渦でさらに加速した。奪われ、虐げられ、周縁化された者たちは日常的にその力学に曝される。しかし、ガヤルドは被害者としての立場を拒否し、その対抗手段として仲間たちと戯れ、歌い、踊り、あり得べき世界を演じ、祝福する。そこに不思議と悲壮感はない。そのことに最初は唾然とするかもしれないが、それは、かつて日本にもあった「予祝」を想起させる。農耕儀礼のひとつである「予祝」は、未来の姿を先に喜び、祝ってしまうことで現実を引き寄せる呪術だが、度重なる災厄と飢饉に苦しみ抜いたからこそ、それを跳ね返すように生まれてきた民の術なのだ。

「予祝」を想起させる

だが、わたしたちはいつの間にか「諦めよ」「従属せよ」と囁く巨大な力を前に、自分たちが望む世界をイメージする力さえ失ってはいないだろうか。静観し、傍観することで、世界の破局に無自覚にも加担してしまっていないだろうか。それどころか、明日へ向かうことすら億劫になってはいないだろうか。

「予祝」を想起させる

だとしたら、ガヤルドの作品をまずは明日への招待状として受けとって、一緒にイメージしてみるのがいい。大切な人の死後も、あなたの人生は続く。死者たちがたとえ魂になったとしても、心底戻ってきたと思える場所をこの世につくる。そのための旅路に彼女はあなたを手招いている。抵抗は過酷なばかりでなく新たな活力を生むのだと、彼女たちのまなざしは物語っている。

「予祝」を想起させる

清水チナツ（しみず・ちなつ／カルチュラル・ワーカー／PUMPQUAKES）福岡県生まれ宮城県在住。2011-18年までせんだいメディアテーク学芸員。2019年コレクティブPUMPQUAKESを設立。2020年に新進芸術家海外研修制度でメキシコ・オアハカに滞在。主な企画展に「畠山直哉 まっぶたつの風景」(せんだいメディアテーク、2016)、企画・編書に民話探訪者 小野和子『あいたくてききたくて 旅にでる』(PUMPQUAKES、2019)など。

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝」を想起させる

「予祝